



日本慢性期医療協会 第2回認知症ケア研修会

開催のご案内

認知症ケア専門士単位認定事業

日時 平成23年12月3・4日(土・日) **会場** 東京研修センター

謹啓 ますますご盛栄清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、日本慢性期医療協会 認知症委員会では、認知症高齢者の尊厳の保持を目的として昨年に続き、「認知症ケア研修会」の開催を企画いたしました。日本の高齢化は急速に進んでおり、認知症の人も今後増加することが考えられます。そのため、認知症の人や家族に対する支援というものの重要性が益々高まってくると考えられます。

本研修会は慢性期医療の現場で認知症にかかわる看護師や介護職員が、認知症医療・ケアの知識を身につけ、具体的な事例をとおして意見を交換できる2日間のプログラムとなっております。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

敬具

日本慢性期医療協会 会長 武久 洋三
認知症委員会 委員長 松谷 之義

開催概要 認知症ケア専門士単位認定事業

日時	平成23年12月3日(土)・4日(日)*2日間		
場所	東京研修センター 〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階 地下鉄丸ノ内線「新宿御苑前」大木戸門方面出口より徒歩8分		
参加対象	慢性期医療の現場で認知症にかかわる看護師・介護職員など		
参加費	日本慢性期医療協会会員 15,000円/1名	会員以外 30,000円/1名	4日昼食含む
定員	80名(先着順)		
修了証	「第2回認知症ケア研修会」の修了証を授与致します。 *「慢性期医療認定病院」更新要件として、 <u>4単位</u> が加算されます。 *日本認知症ケア学会「認知症ケア専門士」更新要件として、 <u>2単位</u> が認められます。		
申込締切	平成23年10月31日(月)		
申込方法	別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。 FAX: 03-3355-3122 (日本慢性期医療協会事務局)		

企画 日本慢性期医療協会 認知症委員会

主催 日本慢性期医療協会

〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階

TEL: 03-3355-3120 FAX: 03-3355-3122

E-mail: info@jamcf.jp ホームページ <http://jamcf.jp>

後援 日本認知症ケア学会

第2回認知症ケア研修会プログラム（予定）

会 場：東京研修センター

総合司会：阿部邦彦（認知症委員会副委員長）

第1日目 12月3日（土）13：00～17：20

時間	プログラム
13：00	開会式 挨拶：松谷之義（日本慢性期医療協会 認知症委員会委員長）
13：10	認知症の診断と治療 柴田展人（順天堂大学医学部准教授） 内容：認知症の診断と治療について、基本的知識を知る。
14：40	休 憩
14：50	BPSD に対する薬物療法と認知症に対する非薬物療法 黒田真喜（順天堂大学医学部助教） 内容：認知症に伴う BPSD（行動心理症状）に対して、どのような対応方法があるかを知る。
15：35	休 憩
15：45	今から実践できる認知症ケア 田中義行（介護老人保健施設港南あおぞら 医学マネジメント部部长） 内容：認知症ケアについての基本的な考え方を整理し、認知症ケアで今からできる事を中心に紹介する。
17：15	終了（事務連絡）

認知症ケア専門士単位認定について

日本慢性期医療協会「認知症ケア研修会」は、日本認知症ケア学会の認知症ケア専門士単位認定事業として認められています。認知症ケア専門士の方は、本研修会の「修了証」を資格更新時に日本認知症ケア学会にご提出いただくと、「認知症ケア専門士単位：2単位」が認められます。

第2日目 12月4日(日)9:00~15:45

時間	プログラム
9:00	認知症高齢者の心理 高橋祐子(富家病院 臨床心理士) 内容: 認知症高齢者がどのような心理状態であるのか。画一的でない心理状態の把握の方法と認知症高齢者への対応を知る。
9:45	事例提示および質疑応答 宮木由貴子(総泉病院 病棟師長) 内容: 認知症以外に治療の必要な合併症を有する事例を提示
10:05	事例提示および質疑応答 竹中佳子(光風園病院 看護主任) 内容: 認知症に伴い、介護が困難になるほどのBPSDを有する事例を提示
10:25	休憩
10:35	グループディスカッション ファシリテーター(認知症委員会委員) 内容: 提示された事例について、1グループで1症例を検討し、ケアの方針と具体的なケアを発表して頂きます。1グループ8名程度の人数で司会、書記、発表者を決めてディスカッションします。 事例については、必ずしもその情報は十分とは限りません。現場でも同様に情報が十分でないことは多々あります。ここではグループでケアの方向性を考え、それに沿った具体的なケアの方法をまとめていただくことを目標とします。単にケアの内容(プラン)を考えるだけではなく、グループで一致した方向を示し、それに沿った具体的なケアを示すことが目標です。
12:00	休憩(昼食)
13:15	グループディスカッションの発表・全体討議 内容: 事例についての検討内容を各グループから発表いただき、事例を提供した講師も含めてディスカッションを行います。
14:25	休憩
14:35	家族心理・家族支援 大寺透(南淡路病院 看護長) 内容: 家族は認知症高齢者を抱えることでどのような問題を生じるのか、家族の問題を理解し、それに対する支援(家族教室)を知る。
15:05	職員のストレスケア 阿部邦彦(和恵会記念病院 作業療法士) 内容: 認知症ケアに携わる職員はどのようなストレスを受けているのか、職員の置かれた状態を考え、ケアに対するモチベーションをどのように高めていくのかを知る。
15:35	閉会式(修了証配布)